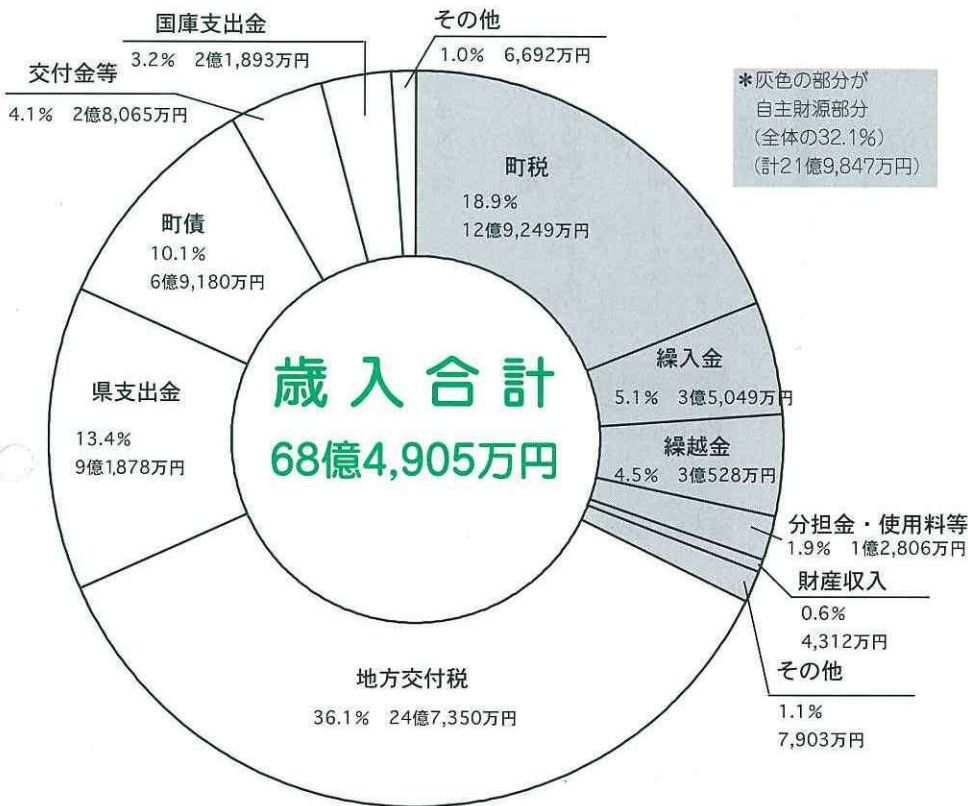


# サイフの中身は？



## 一般会計歳入決算額

項目	決算額
町税	12億9,249万円
緑入金	3億5,049万円
緑越金	3億528万円
分担金・使用料等	1億2,806万円
財産収入	4,312万円
その他	7,903万円
小計	21億9,847万円
地方交付税	24億7,350万円
県支出金	9億1,878万円
町債	6億9,180万円
交付金等	2億8,065万円
国庫支出金	2億1,893万円
その他	6,692万円
小計	46億5,058万円
合計	68億4,905万円

### ◆歳入◆◆◆

川根本町は、平成17年9月20日に誕生しました。平成17年度の川根本町予算は、旧両町で議決された通年予算を尊重して編成し、行政の継続性と住民福祉の向上、生活基盤等の整備の早期完成のため、合併による事業の中断や遅れがでないよう努めました。

旧町も含めた1年間の決算は、歳入総額が68億4905万円、歳出総額が67億2375万円で、差引残額の1億2530万円が平成18年度への繰越金となりました。しかし、前年度からの繰越金を大きく下回っていることや、町の貯金である財政調整基金を大幅に取り崩していることを考慮した平成17年度の純粋な歳入歳出で計算した実質単年度収支は3億5677万円の赤字となっています。合併を契機とし、公平かつ効率的な行財政改革による健全な財政運営を目指していきます。

歳入総額は、68億4905万円（前年度対比△5.7%減）です。国全体の税収が伸び悩んでいる状況の中での三位一体の改革による国庫補助負担金の一般財源化や地方交付税制度の改正は、税源に乏しい当町のような小規模町村にとって、更に厳しい財政運営となりました。町税は12億9249万円（△4837万円）となり全体の18.9%を占め、地方交付税は24億7350万円（+1億1709万円）で36.1%となりました。国庫支出金については、本川根中学校体育館整備事業の完了により2億1893万円（△5612万円）となりましたが、JA川根茶業センター建設補助により県支出金が9億1878万円（+8370万円）と増額となりました。事業への財源不足を補うため、健全財政に配慮しながらも、町債が6億9180万円（△1億6320万円）、繰入金が3億5050万円（△3億6035万円）など、前年度とは減少しているものの町債と貯金を活用することで財源を確保しました。

◆歳出◆◆◆

歳出総額は、67億2375万円（前年度対比△3.4%減）です。合併に伴う電算統合、施設の名称変更・改良事業などの合併対策経費を始め、JA川根茶業センター建設補助、町営簡易水道整備、公営住宅（沢脇団地・地名団地）及び若者定住促進住宅（地名地区）の建設工事など町民の利便性や福祉の向上と、基幹産業の振興、住宅環境の整備を推進しました。

### ◎目的別

合併対策事業、自治振興費など地域コミュニティの活性化に重点を置いた総務費が20.4%を占めています。統